
平成24年度 定期人事異動について

平成24年3月

 広島県

目次

I 基本的な考え方	1
II 異動規模	2
III 異動概要	
(1) 重点施策の取組を加速させるための体制強化	3
(2) 多様な手法・資源を活用した人材育成・能力開発	3
(3) 専門領域における民間経験者等の活用	4
(4) 女性職員の積極的な登用	4



I 基本的な考え方

- 「日本一強い県庁」を目指すために、「組織」が最大限の力を発揮できる体制づくりに努め、適材適所かつ戦略的な人事配置を行う。

主なポイント

- 重点施策の取組を加速させるための体制強化
- 多様な手法・資源を活用した人材育成・能力開発
- 専門領域における民間経験者等の活用
- 女性職員の積極的な登用



Ⅱ 異動規模

➤ 異動規模は昨年度より若干減少

区 分	平成24年度	平成23年度	平成22年度
異 動 総 数	1,956人 (33.0%)	2,143人 (35.5%)	2,205人 (35.6%)

* 対象範囲:教育委員会及び警察を除く全ての職員

* 職名のみの変更は対象外としている

※幹部(課長級以上)異動

区 分	平成24年度	平成23年度	平成22年度
幹部異動(課長級以上)	155人	171人	168人
うち局長級	6人	3人	9人



Ⅲ 異動概要（１）

重点施策の取組を加速させるための体制強化

- 重点施策を推進する組織への人材配置
 - ～ 地域ブランド戦略の強化・推進に向けて、全庁的なブランド戦略を統括する「ブランド推進部長」に経験豊富で行動力のある人材を配置
 - ～ 県内産業の競争力強化に向けて、業種別の課題や企業ニーズを発掘し、政策に結びつける「産業振興監」に実行力のある人材を5名配置
 - ～ 「国際平和拠点ひろしま構想」の実現を目指すため、「平和推進プロジェクト・チーム」に専任の担当課長を配置
- 広島市との連携強化
 - ～ 県・市共通の課題に連携して取り組む分野で人事交流を拡大

多様な手法・資源を活用した人材育成・能力開発

- 中央省庁や民間企業等に職員を派遣し、多様な業務経験を通じた効果的な人材育成を実施
- 大学院経営学修士コース(MBA)へ職員を派遣



Ⅲ 異動概要（２）

専門領域における民間経験者等の活用

- 民間企業の知識・経験を活用するため、客員スタッフを大幅に増員（6名→11名）
- 県民や県内産業ニーズに基づく研究開発と技術支援の取組をより一層推進するため、総合技術研究所長を民間から採用

女性職員の積極的な登用

- 将来の女性幹部職員育成のため、ポスト職へ積極的に女性職員を配置

区分	平成24年度	平成23年度
ポスト職	196人	180人
部長級	3人	3人
課長級	8人	7人
その他	185人	170人

*「その他」には、本庁の担当監，参事，GL，主査，地方機関の課長，係長等が含まれる。